

## 国府小学校 道徳だより

# つなぐ

## No.3



こくフクロウ

6月7日の朝会で、校長先生から驚きの話がありました。

「みんなが運動会で使った得点板。実は、校長先生が30年前、国府小学校で勤務していた時に作ったものです。あれから随分経ちますが、まだ使ってくれていたのびびっくりしました。大事に使ってくれてありがとう。」



形あるものはいつか壊れてしまいます。しかし、そこに込められた思いや願いはずっと受け継がれていきます。国府小学校で大事にしている思いや伝統を受け継いでいけるといいですね。



### 力を出し切った運動会



内容項目：希望と勇気、努力と強い意志

5月19日、26日と2回に渡って実施された運動会。これまで、練習してきた成果をどの学年の子供たちも出し切ってくれました。仲間と励まし合い、力を合わせて頑張った運動会の思い出は、きっと心に残ったと思います。特に、団体演技は1人の力では決して出来ません。運動会当日に向けて練習する中で、失敗しても諦めず最後までやり抜く強い意志や、目標に向かって努力することの大切さも学んだことでしょう。





## 「思いやりがある子供」アンケート結果！



前号でアンケートを実施したところ、たくさんの回答をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。結果は、次のようになりました。

- 誰にでも優しく、目配り、気配りができる子。
- 困っている子に声をかけて寄り添ってあげようとする子ども。
- 徳島市内でも生徒数も支援クラスも多く、本当に色々なカラーがある国府小学校の生徒さんには相手の気持ちや状況を考えて言葉掛けや行動が起こせる、ただ無条件に『優しくする』ということだけではなく想像力をはたらかせ、考える力のある子供が増えてくれるといいなと思います。
- 自分も大切に、相手も大切にできる子供。
- 周りの人の考えを理解しようとする姿勢がある。
- 他人の事を想うことができる子供。
- 相手の事を考えた行動がとれる子だと思います。
- 相手の立場や気持ちになれる。寄り添える。理解しようとしてあげられる。
- 人のことを自分の事のように考えられる。
- 相手の気持ちに寄り添う事ができる子、ありがとうが自然に言える子。
- 困っている友達や悲しい気持ちになっている友達に声をかけてあげる。
- 相手の立場になって考えられる子、困っている子がいたら進んで声が掛けられる子。
- 他者の気持ちを考えて、その人がうれしいと思う言動がとれる人。
- 自分も相手も大切にできる子供。
- 「ありがとう」と感謝を言葉で伝える。
- まわりに気を配れる。自分がされて嫌なことを他人にしない。
- 相手の立場になって考え行動することができる。
- 想像力のある子(創造ではなく想像)相手のバックグラウンドを想像、理解、尊重する。
- 共感力がある子供。
- 人の痛みがわかる子。
- 困っている子がいたら手を差し伸べてあげれる子。
- まわりのお友達の状況をよくみて一人でお友達、元気が無いお友達に声かけしている子。
- 自分優先じゃない子。
- 相手の気持ちに共感し、行動できる。
- つらい思いをしている子に励ましの声をかけることができる子。
- 子は親の鏡

6月21日(金)は道徳参観日です。ぜひ、保護者のみなさまも一緒に考えながらご覧ください。また、道徳参観日の感想用紙を配布予定です。子供や教職員の励みになりますのでたくさんの感想をお待ちしています。